

【2025年度】社会教育基本計画 評価シート

基本理念 学びや活動による「自分づくり・生きがいづくり・つながりづくり・まちづくり」の推進

自分づくり

取組内容及び評価・検証

年度当初に記載

赤字は、再掲を追記した部分(通し番号除く)

グレーのセルは、再掲のため既出

取組実施後(12月)に記載

Table with columns: 基本方針, 計画等, 施策の方向性, 取組内容, 取組状況, 現状分析, 今後の方向性, 検証結果, 自己評価の理由. Rows include categories like 地域コミュニティビジョン, 図書館未来プラン, 地域コミュニティビジョン (自分づくり), 男女共同参画プラン, 障害者福祉計画, 人権教育・啓発事業.

基本方針	計画等	施策の方向性	取組内容	取組状況	所管課評価			
					現状分析	今後の方向性	検証結果	自己評価の理由
自分づくり	生涯学習の推進	④ 地域住民の学びの場となる社会教育施設等は利用しやすい環境を整えます	<p>8 【再掲 生きがいづくり④18】 【再掲 つながりづくり④25】 【再掲 まちづくり④42】</p> <p>②生涯学習の推進 ③生涯学習の機会、学習の場の提供及び人材の育成、生涯学習に関する情報収集と提供を通して生涯学習の推進と市民の交流促進を図る。 ④全市民 ⑤生涯学習サロンでの講座を活用した市民の生涯学習活動の推進 指定管理者である但馬高齢者生きがい創造協議会により、生きがい創造学院の講座、教室を開催 但馬高齢者生きがい創造協議会の自主事業の開催</p>	<p>生きがい創造学院の講座・教室開催 12講座・14教室、生徒数 149人 (12月31日現在)</p> <p>・陶芸 8回/月 ・木彫 4回/月 ・書道(2教室) 各2回/月 ・麦わら、表具、俳句、絵画、編み物、囲碁、パソコン、カラオケ 2回/月 ・写真 1回/月 ・短歌 1回/月※2025年5月末廃止</p> <p>自主事業 ・夏休み木彫体験教室(8月24日) 参加者 大人8名、子ども2名 ・夏休み陶芸体験教室(7月26日) 参加者 大人8名、子ども13名</p> <p>生涯学習サロン利用者数(12月31日現在) 3,044人(学院:2,919人、一般:125人)</p>	⑥ 取組内容や実施方法に課題がある	④ 取組方法(内容)の改善(見直し)を図りながら継続実施する	B 改善実施 (改善・見直しによる継続実施)	<p>生きがい創造学院の生徒は、元は高齢者が対象だったこともあり、高齢者が中心で新規加入もなく、減少が続いている。また、生涯学習サロンは、自主事業と生きがい創造学院の講座以外での利用が少ない状況であることから、取組方法等の改善が必要である。</p> <p>講座の見直し、自主事業の拡大、貸室のPR等によりサロンの利用拡大を図り、市民の交流促進につなげる。</p>
			<p>9 【再掲 生きがいづくり②15】 【再掲 つながりづくり②28】</p> <p>②外部講師・団体による講座・展示 ③市民の課題を解決する場となっている ④高校生以上 ⑤終活講座・起業支援等 ⑥年数回</p>	<p>講座「相続と自筆証書遺言補充制度について」を7/5に日高分館で開催し、28人が参加した</p>	③ 目標(目的)の達成に効果があった	④ 取組方法(内容)の改善(見直し)を図りながら継続実施する	A 継続実施 (拡充・現行方法(内容)による継続実施)	同じ内容の講座を城崎分館でも開催予定
	第2期スポーツ推進計画	⑤ 学ぶもの同士が交流できるような機会の創出に努めます	<p>10 【再掲 生きがいづくり⑤19】</p> <p>②「とよおかスポーツフェスティバルの開催」 ③スポーツに親しみ、スポーツを通じた健康づくりを促進する ④市民 ⑤市民参加交流スポーツイベントの開催</p>	<p>幼児から高齢者まで幅広い世代の市民の、スポーツへの意欲高揚を図るため、10月13日(月・祝)にウェルストーク豊岡、円山川堤防、総合体育館で、とよおかスポーツフェスティバルを実施した(今年度で20回目)。 内容はニュースポーツ体験、トランポ・ロビックス体験、ファミリージョギング、5kmミニマラソン等の多種多様な種目の交流スポーツイベントで、参加者418人(延べ人数1,343人)。</p>	③ 目標(目的)の達成に効果があった	③ 現行方法(内容)で継続実施する	A 継続実施 (拡充・現行方法(内容)による継続実施)	<p>・少雨の中での開催であり、参加者418人(延べ人数1,343人)にとどまった。[昨年度は1,086人(延べ2,765人)] ・共催事業として、豊岡市スポーツ協会(事務局:市文化・スポーツ振興課)においても、競技種目へのきっかけづくりのため、「体験会」を実施した。</p>
	図書館未来プラン	⑥ 学びや活動の成果を生かせる仕組みづくりを検討します	<p>11 【再掲 生きがいづくり⑤20】 【再掲 つながりづくり⑤29】</p> <p>②図書館ボランティア活動 ③図書館サービスの向上 ④高校生以上 ⑤児童ボランティア、朗読ボランティア、点訳ボランティア、修理ボランティア、配架ボランティア ⑥研修会を毎月実施(児童、朗読、点訳)</p>	<p>人数 児童ボランティア 50名(分館含む) 朗読ボランティア 13名 点訳ボランティア 18名 修理ボランティア 8名 配架ボランティア 8名</p> <p>研修会 児童ボランティア研修会 31回(分館含む) 朗読ボランティア研修会 7回(講座1回含む) 点訳ボランティア研修会 8回</p>	③ 目標(目的)の達成に効果があった	② 取組の規模(内容、対象など)を拡充(発展)して継続実施する	B 改善実施 (改善・見直しによる継続実施)	配架ボランティア以外はメンバーの固定化・高齢化が進んでいる状況である。引き続きメンバーの新規募集を呼び掛けている。
			<p>12 【再掲 生きがいづくり⑥21】 【再掲 つながりづくり⑦37】</p> <p>②作品展 ③図書館が活躍する市民の発表の場として利用される ④全ての市民(団体サークル含む) ⑤本館「いこいの間」展示ホールを絵画等の展示会場とする ⑥随時受付</p>	<p>いこいの間 KOKI個展「サメびよりIV」10/2~9 松田朋子SESSION展 11/13~27 展示ホール 松田朋子美術作品展 11/20~24 但馬の高校生写真展 11/26~12/10 豊岡高校定時制作作品展 12/13~24</p>	③ 目標(目的)の達成に効果があった	③ 現行方法(内容)で継続実施する	A 継続実施 (拡充・現行方法(内容)による継続実施)	作品展をきっかけに来館する市民が増えた。他の方の作品展を見て、自分もやってみようとの問い合わせもあった。
	子ども会活動	⑦ 地域にある各種団体等の活動の支援を行います	<p>13 【再掲 つながりづくり⑦35】</p> <p>②青少年健全育成事業 ③子どもの健全な育成 ④地域子ども会連絡協議会 ⑤「豊岡市子ども会連絡協議会」の活動支援のため補助金を交付し、その補助金を5つの地域子ども会連絡協議会(豊岡・城崎・日高・出石・但東)へ配分する。 各地域子ども会連絡協議会は、ファミリーキャンプ、お菓子づくり教室、ハイキング、将棋大会等それぞれ独自の活動を行っている。 2025年度補助金 1,390千円</p>	<p>補助金交付額 ※()内は執行見込額 ・豊岡地域子連 310,000円(310,000円) ・城崎地域子連 160,000円(160,000円) ・日高地域子連 340,000円(340,000円) ・出石地域子連 290,000円(170,000円) ・但東地域子連 290,000円(290,000円) 計 1,390,000円(1,270,000円) ※港地区、竹野地域は未加入</p>	③ 目標(目的)の達成に効果があった	③ 現行方法(内容)で継続実施する	A 継続実施 (拡充・現行方法(内容)による継続実施)	各地域子ども会連絡協議会で、子どもの健全育成のための活動を実施できている。引き続き、補助金交付により活動の支援を行う。

【2025年度】社会教育基本計画 評価シート

基本理念 学びや活動による「自分づくり・生きがいづくり・つながりづくり・まちづくり」の推進

生きがいづくり

取組内容及び評価・検証

年度当初に記載

赤字は、再掲を追記した部分（通し番号除く）

グレーのセルは、再掲のため既出

取組実施後（12月）に記載

基本方針	計画等	施策の方向性	取組内容	取組状況	所管課評価			
					現状分析	今後の方向性	検証結果	自己評価の理由
記載方法		「施策の方向性」を選択（計画P17）※プルダウンリスト	①新規継続変更※プルダウンリスト 「施策の方向性」の視点で取組（事業）を記載 ②取組（事業名） ③目標（目的） ④対象 ⑤内容 ⑥指標（目標値）※あれば ⑦その他特記すべき事項	参加人数・回数・参加率など数値化できるものは、実績数値を記載 「取組内容」に指標（目標値）を記載した場合は、必ず実績数値を記載	取組の「現状分析」を行い、該当する選択肢を選択 ※プルダウンリスト	「現状分析」を踏まえ、「今後の方向性」の検討を行い、該当する選択肢を選択 ※プルダウンリスト	「現状分析」「今後の方向性」の結果を受けて、「検証結果」の評価記号を選択 ※プルダウンリスト	評価の理由、成果や課題、今後の改善点や方向性を記載
生涯学習	障害者福祉計画	② 多様なニーズに対応した学びや活動の機会の充実を図ります	14 【再掲 自分づくり②6】 ②手話奉仕員養成研修事業 ③聴覚障害者等との交流活動の促進 ④市内在住、在勤、在学の16歳以上の者 ⑤手話奉仕員養成講座の開催 ⑥修了者10名	参加人数：18人 講座実施回数：29回	③ 目標(目的)の達成に効果があった	③ 現行方法(内容)で継続実施する	A 継続実施 (拡充・現行方法(内容)による継続実施)	手話であいさつしたり、簡単な会話ができるようになるなど一定の成果はあり、目標の修了者数も達成できそうである。今後は若年層の参加を促していきたい。
	図書館未来プラン		15 【再掲 自分づくり④9】 【再掲 つながりづくり⑤28】 ②外部講師・団体による講座・展示 ③市民の課題を解決する場となっている ④高校生以上 ⑤終活講座・起業支援等 ⑥年数回	講座「相続と自筆証書遺言補完制度について」を7/5に日高分館で開催し、28人が参加した	③ 目標(目的)の達成に効果があった	④ 取組方法(内容)の改善(見直し)を図りながら継続実施する	A 継続実施 (拡充・現行方法(内容)による継続実施)	同じ内容の講座を城崎分館でも開催予定
	障害者福祉計画	③ 社会情勢の変化等に対応した学びや活動の機会を検討します	16 【再掲 つながりづくり③24】 ②障害者スポーツ大会、障害者スポーツ・チャレンジ大会等の開催 ③障害者の社会参加 ④障害者 ⑤障害者スポーツ大会、障害者スポーツ・チャレンジ大会等の開催	(1)身体障害者スポーツ大会 参加人数：33人 (2)スポーツ・チャレンジ大会 参加人数：46人	③ 目標(目的)の達成に効果があった	③ 現行方法(内容)で継続実施する	A 継続実施 (拡充・現行方法(内容)による継続実施)	参加人数が減少傾向にあるため、参加しやすいよう競技内容の見直しを行いながら、今後も継続していく。
	地域コミュニティビジョン		17 ②コミュニティセンター管理業務 ③地域コミュニティ組織の活動の拠点となるコミュニティセンターを良好な状態で維持管理し、地域コミュニティ組織及び貸館利用者の快適な利用に資する。 ④市内29地区コミュニティセンター ⑤29地区コミュニティセンターの維持管理 ⑥良好な状態での維持管理	全29館良好な状態での維持管理ができています。	① 目標(目的)が達成された	③ 現行方法(内容)で継続実施する	A 継続実施 (拡充・現行方法(内容)による継続実施)	施設環境を維持するため、日々の管理を、地域コミュニティ組織に委託している。修繕に関しては、包括管理として日本管財が担っている。除雪については、概ね業者に委託している。コミュニティ活動の拠点として、地区の登録団体等無料で使用していただいているため、今後は地域の活動拠点は地域のものという意識を醸成し、例えば、センターの大掃除、草刈り、除雪など地区の利用者にも協力いただくようし、地域住民と協働で利用しやすい環境を整える。
	生涯学習の推進	④ 地域住民の学びの場となる社会教育施設等は利用しやすい環境を整えます	18 【再掲 自分づくり④8】 【再掲 つながりづくり④25】 【再掲 まちづくり④42】 ②生涯学習の推進 ③生涯学習の機会、学習の場の提供及び人材の育成、生涯学習に関する情報収集と提供を通して生涯学習の推進と市民の交流促進を図る。 ④全市民 ⑤生涯学習サロンでの講座を活用した市民の生涯学習活動の推進 指定管理者である但馬高齢者生きがい創造協議会により、生きがい創造学院の講座、教室を開催 但馬高齢者生きがい創造協議会の自主事業の開催	生きがい創造学院の講座・教室開催 12講座・14教室、生徒数 149人 (12月31日現在) ・陶芸 8回/月 ・木彫 4回/月 ・書道(2教室) 各2回/月 ・麦わら、表具、俳句、絵画、編み物、囲碁、パソコン、カラオケ 2回/月 ・写真 1回/月 ・短歌 1回/月※2025年5月末廃止 自主事業 ・夏休み木彫体験教室(8月24日) 参加者 大人8名、子ども2名 ・夏休み陶芸体験教室(7月26日) 参加者 大人8名、子ども13名 生涯学習サロン利用者数(12月31日現在) 3,044人(学院:2,919人、一般:125人)	⑥ 取組内容や実施方法に課題がある	④ 取組方法(内容)の改善(見直し)を図りながら継続実施する	B 改善実施 (改善・見直しによる継続実施)	生きがい創造学院の生徒は、元は高齢者が対象だったこともあり、高齢者が中心で新規加入もなく、減少が続いている。また、生涯学習サロンは、自主事業と生きがい創造学院の講座以外での利用が少ない状況であることから、取組方法等の改善が必要である。 講座の見直し、自主事業の拡大、貸室のPR等によりサロンの利用拡大を図り、市民の交流促進につなげる。
	第2期スポーツ推進計画	⑤ 学ぼうの同士が交流できるような機会の創出に努めます	19 【再掲 自分づくり⑤10】 ②「とよおかスポーツフェスティバルの開催」 ③スポーツに親しみ、スポーツを通じた健康づくりを促進する ④市民 ⑤市民参加交流スポーツイベントの開催	幼児から高齢者まで幅広い世代の市民の、スポーツへの意欲高揚を図るため、10月13日(月・祝)にウェルストーク豊岡、円山川堤防、総合体育館で、とよおかスポーツフェスティバルを実施した(今年度で20回目)。内容はニュースポーツ体験、トランポ・ロピックス体験、ファミリージョギング、5kmミニマラソン等の多種多様な種目の交流スポーツイベントで、参加者418人(延べ人数1,343人)。	③ 目標(目的)の達成に効果があった	③ 現行方法(内容)で継続実施する	A 継続実施 (拡充・現行方法(内容)による継続実施)	・少雨の中での開催であり、参加者418人(延べ人数1,343人)にとどまった。[昨年度は1,086人(延べ2,765人)] ・共催事業として、豊岡市スポーツ協会(事務局:市文化・スポーツ振興課)においても、競技種目へのきっかりづくりのため、「体験会」を実施した。
	図書館未来プラン		20 【再掲 自分づくり⑥11】 【再掲 つながりづくり⑤29】 ②図書館ボランティア活動 ③図書館サービスの向上 ④高校生以上 ⑤児童ボランティア、朗読ボランティア、点訳ボランティア、修理ボランティア、配架ボランティア ⑥研修会を毎月実施(児童、朗読、点訳)	人数 児童ボランティア 50名(分館含む) 朗読ボランティア 13名 点訳ボランティア 18名 修理ボランティア 8名 配架ボランティア 8名 研修会 児童ボランティア研修会 31回(分館含む) 朗読ボランティア研修会 7回(講座1回含む) 点訳ボランティア研修会 8回	③ 目標(目的)の達成に効果があった	② 取組の規模(内容、対象など)を拡充(発展)して継続実施する	B 改善実施 (改善・見直しによる継続実施)	配架ボランティア以外はメンバーの固定化・高齢化が進んでいる状況である。引き続きメンバーの新規募集を呼び掛けていきたい。
	図書館未来プラン	⑥ 学びや活動の成果を生かせる仕組みづくりを検討します	21 【再掲 自分づくり⑥12】 【再掲 つながりづくり⑦37】 ②作品展示会 ③図書館が活躍する市民の発表の場として利用される ④全ての市民(団体サークル含む) ⑤本館「いこいの間」展示ホールを絵画等の展示会場とする ⑥随時受付	いこいの間 KOKI個展「サメよりIV」10/2~9 松田朋子SESSION展 11/13~27 展示ホール 松田朋子美術作品展 11/20~24 但馬の高校生写真展 11/26~12/10 豊岡高校定時制作品展 12/13~24	③ 目標(目的)の達成に効果があった	③ 現行方法(内容)で継続実施する	A 継続実施 (拡充・現行方法(内容)による継続実施)	作品展示会をきっかけに来館する市民が増えた。 他の方の作品展示会を見て、自分もやってみたいとの問い合わせもあった。

【2025年度】社会教育基本計画 評価シート

基本理念 学びや活動による「自分づくり・生きがいづくり・つながりづくり・まちづくり」の推進

つながりづくり

取組内容及び評価・検証

年度当初に記載

赤字は、再掲を追記した部分（通し番号除く）

グレーのセルは、再掲のため既出

取組実施後（12月）に記載

基本方針	計画等	施策の方向性	取組内容	取組状況	所管課評価			
					現状分析	今後の方向性	検証結果	自己評価の理由
記載方法		「施策の方向性」を選択（計画P17）※プルダウンリスト	①「施策の方向性」の視点で取組（事業）を記載 ②取組（事業名） ③目標（目的） ④対象 ⑤内容 ⑥指標（目標値）※あれば ⑦その他特記すべき事項	参加人数・回数・参加率など数値化できるものは、実績数値を記載 「取組内容」に指標（目標値）を記載した場合は、必ず実績数値を記載	取組の「現状分析」を行い、該当する選択肢を選択 ※プルダウンリスト	「現状分析」を踏まえ、「今後の方向性」の検討を行い、該当する選択肢を選択 ※プルダウンリスト	「現状分析」「今後の方向性」の結果を受けて、「検証結果」の評価記号を選択 ※プルダウンリスト	評価の理由、成果や課題、今後の改善点や方向性を記載
つながりづくり	第2期文化芸術振興計画	① 情報提供、情報発信の充実を図ります	22 ②「豊岡アートシーズンのポータルサイトの構築」 ③文化芸術団体等の連携・交流が生まれるとともに、市民の文化芸術に対する関心が高まる ④地域で文化芸術活動に携わる団体、個人 ⑤ポータルサイトを構築し、地域住民が文化芸術に関する情報を収集、発信できる仕組みを作る ⑥ポータルサイト登録団体数	10月にポータルサイトを構築し、運用開始。 ポータルサイト登録団体数：8団体	④ 現時点では効果が表れていないが、継続して実施することで効果が期待できる	③ 現行方法（内容）で継続実施する	A 継続実施（拡充・現行方法（内容）による継続実施）	登録団体数を増やすため、さらなる周知に努める必要がある。
	多文化共生プラン	③ 社会情勢の変化等に対応した学びや活動の機会を検討します	23 【再掲 つながりづくり⑦32】 【再掲 まちづくり④41】 ②多文化共生 ③暮らしやすいと感じる外国人市民を増やすため、コミュニケーション支援、生活支援、多文化共生の意識啓発と地域づくりに取り組む。 ④外国人市民 ⑤日本語、日本文化を学ぶ機会の充実 外国人相談窓口の充実 外国人市民が気軽に集まれる居場所と出番の創出	①多文化交流サロン（委託事業）生活オリエンテーションや防災ワークショップを月1回実施 ②転入者の無料日本語教室（委託事業） ③研修会 支援者向け、職員向けなど4回実施 ④外国人相談窓口の設置	③ 目標（目的）の達成に効果があった	④ 取組方法（内容）の改善（見直し）を図りながら継続実施する	B 改善実施（改善・見直しによる継続実施）	交流事業や研修会などは一定の効果はあると思われる。始めて1～2年の事業もあるので、改善しながら継続していく。多文化共生の意識啓発と地域づくりには、今後取り組んでいく予定。
	障害者福祉計画		24 【再掲 生きがいづくり⑩16】 ②障害者スポーツ大会、障害者スポーツ・チャレンジ大会等の開催 ③障害者の社会参加 ④障害者 ⑤障害者スポーツ大会、障害者スポーツ・チャレンジ大会等の開催	1)身体障害者スポーツ大会 参加人数：33人 2)スポーツ・チャレンジ大会 参加人数：46人	③ 目標（目的）の達成に効果があった	③ 現行方法（内容）で継続実施する	A 継続実施（拡充・現行方法（内容）による継続実施）	参加人数が減少傾向にあるため、参加しやすくなるよう競技内容の見直しを行いながら、今後も継続していく。
	生涯学習の推進	④ 地域住民の学びの場となる社会教育施設等は利用しやすい環境を整えます	25 【再掲 自分づくり④8】 【再掲 生きがいづくり④18】 【再掲 まちづくり⑥42】 ②生涯学習の推進 ③生涯学習の機会、学習の場の提供及び人材の育成、生涯学習に関する情報収集と提供を通して生涯学習の推進と市民の交流促進を図る。 ④全市民 ⑤生涯学習サロンでの講座を活用した市民の生涯学習活動の推進 指定管理者である但馬高齢者生きがい創造協議会により、生きがい創造学院の講座、教室を開催 但馬高齢者生きがい創造協議会の自主事業の開催	生きがい創造学院の講座・教室開催 12講座・14教室、生徒数 149人 (12月31日現在) ・陶芸 8回/月 ・木彫 4回/月 ・書道(2教室) 各2回/月 ・麦わら、表具、俳句、絵画、編み物、囲碁、パソコン、カラオケ 2回/月 ・写真 1回/月 ・短歌 1回/月※2025年5月末廃止 自主事業 ・夏休み木彫体験教室(8月24日) 参加者 大人8名、子ども2名 ・夏休み陶芸体験教室(7月26日) 参加者 大人8名、子ども13名 生涯学習サロン利用者数(12月31日現在) 3,044人(学院：2,919人、一般：125人)	⑥ 取組内容や実施方法に課題がある	④ 取組方法（内容）の改善（見直し）を図りながら継続実施する	B 改善実施（改善・見直しによる継続実施）	生きがい創造学院の生徒は、元は高齢者が対象だったこともあり、高齢者が中心で新規加入も無く、減少が続いている。また、生涯学習サロンは、自主事業と生きがい創造学院の講座以外での利用が少ない状況であることから、取組方法等の改善が必要である。 講座の見直し、自主事業の拡大、貸室のPR等によりサロンの利用拡大を図り、市民の交流促進につなげる。
	地域コミュニティアクション		26 ②各地域コミュニティ組織による、住民参加型事業の開催 ③多様な人が参加・参画する事業を実施することで、つながりづくりを推進する ④住民、関係人口になりうる方 ⑤地域コミュニティ組織による事業の実施 ⑥各地区の地域づくり計画に沿った事業実施	29/29組織、合計488事業を実施。 (それぞれの事業数は別紙のとおり)	③ 目標（目的）の達成に効果があった	④ 取組方法（内容）の改善（見直し）を図りながら継続実施する	B 改善実施（改善・見直しによる継続実施）	事業数が多く疲弊感がでている地区があり、目的と効果を整理し、地域づくり計画の見直しが必要である。 また参加者が固定化している事業など目的に沿っているか、役割が終わっていないかなど検証が必要である。
図書館未来プラン	⑤ 学ぶもの同士が交流できるような機会の創出に努めます	27 【再掲 自分づくり④4】 【再掲 まちづくり⑥47】 ②住民自治組織、行政、中間支援組織、関係団体、事業所など、連携した地域コミュニティ組織の事業実施 多様なニーズに対応するため、多様な主体が連携し、事業を実施する。 ④住民自治組織、行政、中間支援組織、関係団体、事業所 ⑤多様な主体が参画する協働事業の実施 ⑥協働事業数全組織1事業以上(2029年度までに)	25/29組織、合計111事業を実施。 ※それぞれの実施数は別表(まちづくりP2)のとおり	③ 目標（目的）の達成に効果があった	② 取組の規模（内容、対象など）を拡充（発展）して継続実施する	A 継続実施（拡充・現行方法（内容）による継続実施）	多様な主体が地域コミュニティ組織の活動に参画できるよう、また持続可能な組織運営のため、開催側の負担を分担できる仕組みを検討しながら、協働事業を拡充していきたい。	
		28 【再掲 自分づくり④9】 【再掲 生きがいづくり⑩15】 ②外部講師・団体による講座・展示 ③市民の課題を解決する場となっている ④高校生以上 ⑤終活講座・起業支援等 ⑥年数回	講座「相続と自筆証書遺言補充制度について」を7/5に日高分館で開催し、28人が参加した	③ 目標（目的）の達成に効果があった	④ 取組方法（内容）の改善（見直し）を図りながら継続実施する	A 継続実施（拡充・現行方法（内容）による継続実施）	同じ内容の講座を城崎分館でも開催予定	
		29 【再掲 自分づくり⑥11】 【再掲 生きがいづくり⑤20】 ②図書館ボランティア活動 ③図書館サービスの向上 ④高校生以上 ⑤児童ボランティア、朗読ボランティア、点訳ボランティア、修理ボランティア、配架ボランティア ⑥研修会を毎月実施(児童、朗読、点訳)	人数 児童ボランティア 50名(分館含む) 朗読ボランティア 13名 点訳ボランティア 18名 修理ボランティア 8名 配架ボランティア 8名 研修会 児童ボランティア研修会 31回(分館含む) 朗読ボランティア研修会 7回(講座1回含む) 点訳ボランティア研修会 8回	③ 目標（目的）の達成に効果があった	② 取組の規模（内容、対象など）を拡充（発展）して継続実施する	B 改善実施（改善・見直しによる継続実施）	配架ボランティア以外はメンバーの固定化・高齢化が進んでいる状況である。引き続きメンバーの新規募集を呼び掛けていきたい。	
		30 ②読書会 ③様々な本に触れる機会を増やす ④高校生以上 ⑤自分が好きな本、他の人にも読んで欲しい本などを紹介しあう ⑥年4回	3回実施 ・5/24「私の好きな本」6名参加 ・8/8「私の好きな本」3名参加 ※中高生限定 ・11/29「村上春樹を語ろう」8名参加	① 目標（目的）が達成された	③ 現行方法（内容）で継続実施する	A 継続実施（拡充・現行方法（内容）による継続実施）	3回目は進行役を市民にしてもらった。今後は進行だけでなく、日程やテーマ決めなども市民同士で決めるように進めていきたい。	

基本方針	計画等	施策の方向性	取組内容	取組状況	所管課評価			
					現状分析	今後の方向性	検証結果	自己評価の理由
さくすくす	第2期スポーツ推進計画		<p>31</p> <p>②「スポーツ推進委員と地域コミュニティ組織との連携」 ③スポーツに親しみ、スポーツを通じた健康づくりや地域における「つながり」を促進する ④市民 ⑤スポーツ推進委員と地域コミュニティ組織との連携を通じて地域のスポーツ活動における人材の育成</p>	<p>スポーツ推進委員及び豊岡地域のコミュニティ組織役員で研修会を11月29日(土)に実施した。内容はニュースポーツ普及も兼ねて「モルック」を実施し、参加者は32人。</p>	④ 現時点では効果が表れていないが、継続して実施することで効果が期待できる	④ 取組方法(内容)の改善(見直し)を図りながら継続実施する	B 改善実施 (改善・見直しによる継続実施)	・今回実施した研修会を契機に、コミュニティ組織との連携を深め、地域におけるスポーツの活性化に向け取り組みを強化する(2026年度以降は、豊岡地域以外の地域コミュニティ組織において、取り組みを進めていきたい)。
	多文化共生プラン		<p>32 【再掲 つながりづくり③23】 【再掲 まちづくり④41】</p> <p>②多文化共生 ③暮らしやすいと感じる外国人市民を増やすため、コミュニケーション支援、生活支援、多文化共生の意識啓発と地域づくりに取り組む。 ④外国人市民 ⑤日本語、日本文化を学ぶ機会の充実 外国人相談窓口の充実 外国人市民が気軽に集まれる居場所と出番の創出</p>	<p>①多文化交流サロン(委託事業) 生活オリエンテーションや防災ワークショップを月1回実施 ②転入者の無料日本語教室(委託事業) ③研修会 支援者向け、職員向けなど4回実施 ④外国人相談窓口の設置</p>	③ 目標(目的)の達成に効果があった	④ 取組方法(内容)の改善(見直し)を図りながら継続実施する	B 改善実施 (改善・見直しによる継続実施)	交流事業や研修会などは一定の効果はあると思われる。始めて1～2年の事業もあるので、改善しながら継続していく。 多文化共生の意識啓発と地域づくりに、今後取り組んでいく予定。
	第5次とよおか教育プラン	⑦ 地域にある各種団体等の活動の支援を行います	<p>33 【再掲 まちづくり⑦43】</p> <p>②青少年健全育成活動の支援・推進 ③青少年を非行から守り、健全な育成を図る。 ④豊岡市青少年健全育成地区会議、青少年健全育成地区会議(22地区) ⑤「豊岡市青少年健全育成地区会議連絡会」を組織し、地域・家庭・学校園・行政が連携、協働して青少年健全育成に取り組む。 子ども、保護者を対象にした適切なインターネット、スマホ利用についての啓発活動を推進する。 (旧豊岡市子どもと心でつながる市民運動推進協議会) 2025年度補助金 2,659千円</p> <p>【予定事業等】 ・スマホ・ケータイ安全教室講師派遣事業 講師 ソーシャルメディア研究会学生 ※市内小中学校5校 ・青少年の適切なインターネット利用に関する講演会「ファクトチェック 子どもとメディアリテラシー」講師 篠原嘉一氏 ※豊岡市PTA連合会との共催 ・人権啓発活動「市民ふれあいのつどいパート2」後援 ・夏休みラジオ体操への参加推進 「みんなでつなご! 夏休みラジオ体操」のぼり旗作成 ・災害に備えた市民総参加訓練への参加推進 ・「豊岡あいさつA7運動」及び「早寝早起き朝ごはん」の普及啓発 あいさつA7ノート作成、小学1年生に配布 ・地域・地区での見守りパトロールの実施 ・情報交換会 学校での子どもたちの様子 市教委学校教育課指導主事から各地区会議の活動報告 ・補助金交付額 2,659千円</p>	<p>・スマホ・ケータイ安全教室講師派遣事業 講師 ソーシャルメディア研究会学生 竹野学園後期課程、城崎中、合橋小、福住小、五荘小に派遣 ・青少年の適切なインターネット利用に関する講演会「ファクトチェック 子どもとメディアリテラシー」講師 篠原嘉一氏 (NIT情報技術推進ネットワーク株代表取締役) ※豊岡市PTA連合会との共催 ・人権啓発活動「市民ふれあいのつどいパート2」後援 ・夏休みラジオ体操への参加推進 「みんなでつなご! 夏休みラジオ体操」のぼり旗作成 ・災害に備えた市民総参加訓練への参加推進 ・「豊岡あいさつA7運動」及び「早寝早起き朝ごはん」の普及啓発 あいさつA7ノート作成、小学1年生に配布 ・地域・地区での見守りパトロールの実施 ・情報交換会 学校での子どもたちの様子 市教委学校教育課指導主事から各地区会議の活動報告 ・補助金交付額 2,659千円</p>	③ 目標(目的)の達成に効果があった	③ 現行方法(内容)で継続実施する	A 継続実施 (拡充・現行方法(内容)による継続実施)	「豊岡市青少年健全育成地区会議連絡会」実施の活動は、地域・家庭・学校園が連携、協働して青少年健全育成に取り組む内容となっている。また、連絡会の構成員である各地区の青少年健全育成地区会議においても、様々な体験教室、ボランティア活動、三世交代流等、子どもたちと地域とのつながりをつくるものとなっているため、引き続き、補助金を交付することにより支援するものとする。
			<p>34 【再掲 まちづくり⑦44】</p> <p>②PTAとの協働と活動支援 ③PTA活動による子供たちの健全な育成 ④豊岡市PTA連合会、各単位PTA ⑤地域の実情に応じた柔軟かつ多様で有意義な活動となるよう支援する。 学校・家庭・地域が互いに連携し、直面する課題の共有、課題解決に向けての意見交換や研修会の開催など、市PTA連合会と連携、協働して取組を進める。 2025年度補助金 372千円</p> <p>【予定事業等】 ・PTCAあいさつ運動推進強調月間(5・11月) ・PTAリーダー研修会「子どものことを考える会」講演会「ファクトチェック 子どもとメディアリテラシー」講師 篠原嘉一氏 (NIT情報技術推進ネットワーク株代表取締役) ※豊岡市青少年育成地区会議との共催 ・PTCA地区別研究大会(豊岡の子どもを育てる会) 市民ふれあいのつどいパート2(豊岡の子どもを育てる会)講演会 講師 中野佐世子氏 (人権教育・啓発講師、手話通訳士) ※市、市教委、人権協共催 ・研修会 「第5次とよおか教育プランについて」 講師 市教委教育研修センター所長 情報交換会 グループに分かれ、各PTAの取組や課題について情報交換 ・補助金交付額 372千円</p>	<p>・PTCAあいさつ運動推進強調月間(5月・11月) ・PTAリーダー研修会「子どものことを考える会」講演会「ファクトチェック 子どもとメディアリテラシー」講師 篠原嘉一氏 (NIT情報技術推進ネットワーク株代表取締役) ※豊岡市青少年育成地区会議との共催 ・PTCA地区別研究大会(豊岡の子どもを育てる会) 市民ふれあいのつどいパート2(豊岡の子どもを育てる会)講演会 講師 中野佐世子氏 (人権教育・啓発講師、手話通訳士) ※市、市教委、人権協共催 ・研修会 「第5次とよおか教育プランについて」 講師 市教委教育研修センター所長 情報交換会 グループに分かれ、各PTAの取組や課題について情報交換 ・補助金交付額 372千円</p>	③ 目標(目的)の達成に効果があった	③ 現行方法(内容)で継続実施する	A 継続実施 (拡充・現行方法(内容)による継続実施)	SNSの安全な使い方に関する講演会や各PTAの情報交換会など、子どもたちの健全な育成に寄与する活動が行われており、引き続き、補助金を交付することにより支援するものとする。
	子ども会活動		<p>35 【再掲 自分づくり⑦13】</p> <p>②青少年健全育成事業 ③子どもの健全な育成 ④地域子ども会連絡協議会 ⑤「豊岡市子ども会連絡協議会」の活動支援のため補助金を交付し、その補助金を5つの地域子ども会連絡協議会(豊岡・城崎・日高・出石・但東)へ配分する。 各地域子ども会連絡協議会は、ファミリーキャンプ、お菓子づくり教室、ハイキング、将棋大会等それぞれ独自の活動を行っている。 2025年度補助金 1,390千円</p>	<p>補助金交付額 ※()内は執行見込額 ・豊岡地域子連 310,000円(310,000円) ・城崎地域子連 160,000円(160,000円) ・日高地域子連 340,000円(340,000円) ・出石地域子連 290,000円(170,000円) ・但東地域子連 290,000円(290,000円) 計 1,390,000円(1,270,000円) ※港地区、竹野地域は未加入</p>	③ 目標(目的)の達成に効果があった	③ 現行方法(内容)で継続実施する	A 継続実施 (拡充・現行方法(内容)による継続実施)	各地域子ども会連絡協議会で、子どもの健全育成のための活動を実施できている。引き続き、補助金交付により活動の支援を行う。
	図書館未来プラン		<p>36 【再掲 まちづくり⑦45】</p> <p>②とよかんへいこう! ③図書館が活躍する市民の発表の場として利用される ④全ての市民(団体サークルを含む) ⑤本館「いこいの庭」「いこいの間」をワークショップやフリーマーケット等の会場とする ⑥年2回 ⑦地域おこし協力隊が主体となって実行委員会を運営、参加者の募集等を行う</p>	<p>2回実施 ・5/18「スプリングマーケット」 飲食物、雑貨の販売・かご編み・木工クラフト・ダンス・漫才 ・10/26「ハロウィーンマーケット」※読書週間 「とよかんまつり」の一環として開催 飲食物の販売・しおり作り・漫才・コント・ビブリオバトル</p>	① 目標(目的)が達成された	③ 現行方法(内容)で継続実施する	A 継続実施 (拡充・現行方法(内容)による継続実施)	地域おこし協力隊の協力により多数の出店者や芸術文化観光専門職大学生などに関わってもらえた。彼らにSNSで告知してもらったことで多数の来館者で賑わった。貸出点数の増加にはそれほどつながらなかった点が今後の課題と思われる。
			<p>37 【再掲 自分づくり⑥12】 【再掲 生きがいづくり⑥21】</p> <p>②作品展示会 ③図書館が活躍する市民の発表の場として利用される ④全ての市民(団体サークルを含む) ⑤本館「いこいの間」「展示ホール」を絵画等の展示会場とする ⑥随時受付</p>	<p>いこいの間 KOKI個展「サメびよりIV」10/2～9 松田朋子SESSION展 11/13～27 展示ホール 松田朋子美術作品展 11/20～24 但馬の高校生写真展 11/26～12/10 豊岡高校定時制作品展 12/13～24</p>	③ 目標(目的)の達成に効果があった	③ 現行方法(内容)で継続実施する	A 継続実施 (拡充・現行方法(内容)による継続実施)	作品展示会をきっかけに来館する市民が増えた。他の方の作品展示会を見て、自分もやってみたいとの問い合わせもあった。

基本方針	計画等	施策の方向性	取組内容	取組状況	所管課評価			
					現状分析	今後の方向性	検証結果	自己評価の理由
第5次とよおか教育プラン 図書館未来プラン	⑧ 多様な機関、団体等との連携を進めます	継続	38 ②コミュニティ・スクールを核とした地域学校協働活動の充実 ③地域全体で子どもを育てる「地域とともにある学校づくり」の充実 ④学校・保護者・地域関係者等 ⑤学校・保護者・地域関係者等で組織する学校運営協議会において、めざす子どもの姿や学校の課題を共有するとともに、課題解決に向けた地域学校協働活動の充実を図る。	・学校運営協議会の設置 全小中義務教育学校 (小19、中6、義務1、小中合同2) ・学校運営協議会の実施 11月末現在 延べ46回 ・豊岡市コミュニティ・スクール研修会の開催 令和7年10月21日(火) 文部科学省 CSマイスター 安田 隆人 氏 参加者45名	③ 目標(目的)の達成に効果があった	③ 現行方法(内容)で継続実施する	A 継続実施 (拡充・現行方法(内容)による継続実施)	学校運営協議会での協議や熟議により、学校と地域が「子どもにどんな力をつけさせたいのか」「地域でどのような子どもを育てるのか」などの目標やビジョンを共有でき、連携した取組が浸透してきている。 登下校の見守り、図書室の整備、夏休みの学習教室など、地域学校協働活動が充実してきている。
			39 【再掲 まちづくり⑦46】 ②本がある場所との連携 [例: だいかい文庫・専門職大学図書館] ③様々な本に触れる機会を増やす ④全ての市民 ⑤イベントの共催、出張貸出等 ⑥随時	だいかい文庫の閉鎖もあり、「本がある場所」との連携が取れていない	⑥ 取組内容や実施方法に課題がある	④ 取組方法(内容)の改善(見直し)を図りながら継続実施する	C 抜本的見直し (見直しを行い実施)	豊岡市民会館・コープデイズ豊岡・但馬空港でのイベントへ出張貸出を実施しており、「本がある場所」にこだわらず「人が集まる場所」と連携としていけたらと考える。

【2025年度】社会教育基本計画 評価シート

基本理念 学びや活動による「自分づくり・生きがいがづくり・つながりづくり・まちづくり」の推進

まちづくり

取組内容及び評価・検証

年度当初に記載

赤字は、再掲を追記した部分 (通し番号除く)

グレーのセルは、再掲のため既出

取組実施後 (12月) に記載

基本方針	計画等	施策の方向性	取組内容	取組状況	所管課評価			
					現状分析	今後の方向性	検証結果	自己評価の理由
記載方法		「施策の方向性」を選択 (計画P17) ※プルダウンリスト	①「施策の方向性」の視点で取組 (事業) を記載 ②取組 (事業名) ③目標 (目的) ④対象 ⑤内容 ⑥指標 (目標値) ※あれば ⑦その他特記すべき事項	参加人数・回数・参加率など数値化できるものは、実績数値を記載 「取組内容」に指標 (目標値) を記載した場合は、必ず実績数値を記載	取組の「現状分析」を行い、該当する選択肢を選択 ※プルダウンリスト	「現状分析」を踏まえ、「今後の方向性」の検討を行い、該当する選択肢を選択 ※プルダウンリスト	「現状分析」「今後の方向性」の結果を受けて、「検証結果」の評価記号を選択 ※プルダウンリスト	評価の理由、成果や課題、今後の改善点や方向性を記載
まちづくり	図書館未来プラン	② 多様なニーズに対応した学びや活動の機会の充実を図ります	40 【再掲 自分づくり①2】 ②図書購入 ③図書館サービスの充実 ④全ての市民 ⑤電子図書を含む図書を購入し市民に提供する ⑥年間6,700冊(うち電子500冊)購入予定 ※2024年度購入実績に基づく	12月末現在の購入冊数 図書 4,323冊(一般書2,769冊・児童書1,543冊・郷土資料11冊) 電子図書 464冊(一般書120冊・児童書344冊)	③ 目標(目的)の達成に効果があった	③ 現行方法(内容)で継続実施する	A 継続実施 (拡充・現行方法(内容)による継続実施)	多様な分野の図書を収集し提供することで、市民の「知の蔵」としての役割を果たしていきたい。 (郷土資料は寄贈が多いため、購入冊数は少ない傾向にある)
	多文化共生プラン	③ 社会情勢の変化等に対応した学びや活動の機会を検討します	41 【再掲 つながりづくり③23・⑦32】 ②多文化共生 ③暮らしやすいと感じる外国人市民を増やすため、コミュニケーション支援、生活支援、多文化共生の意識啓発と地域づくりに取り組む。 ④外国人市民 ⑤日本語、日本文化を学ぶ機会の充実 外国人相談窓口の充実 外国人市民が気軽に集まれる居場所と出番の創出	①多文化交流サロン(委託事業)生活オリエンテーションや防災ワークショップを月1回実施 ②転入者の無料日本語教室(委託事業) ③研修会 支援者向け、職員向けなど4回実施 ④外国人相談窓口の設置	③ 目標(目的)の達成に効果があった	④ 取組方法(内容)の改善(見直し)を図りながら継続実施する	B 改善実施 (改善・見直しによる継続実施)	交流事業や研修会などは一定の効果はあると思われる。始めて1~2年の事業もあるので、改善しながら継続していく。 多文化共生の意識啓発と地域づくりに、今後取り組んでいく予定。
	生涯学習の推進	⑥ 学びや活動の成果を生かせる仕組みづくりを検討します	42 【再掲 自分づくり④8】 【再掲 生きがいがづくり④18】 【再掲 つながりづくり④25】 ②生涯学習の推進 ③生涯学習の機会、学習の場の提供及び人材の育成、生涯学習に関する情報収集と提供を通して生涯学習の推進と市民の交流促進を図る。 ④全市民 ⑤生涯学習サロンの講座を活用した市民の生涯学習活動の推進 指定管理者である但馬高齢者生きがい創造協議会により、生きがい創造学院の講座、教室を開催 但馬高齢者生きがい創造協議会の自主事業の開催	生きがい創造学院の講座・教室開催 12講座・14教室、生徒数 149人 (12月31日現在) ・陶芸 8回/月 ・木彫 4回/月 ・書道(2教室) 各2回/月 ・麦わら、表具、俳句、絵画、編み物、囲碁、パソコン、カラオケ 2回/月 ・写真 1回/月 ・短歌 1回/月 ※2025年5月末廃止 自主事業 ・夏休み木彫体験教室(8月24日) 参加者 大人8名、子ども2名 ・夏休み陶芸体験教室(7月26日) 参加者 大人8名、子ども13名 生涯学習サロン利用者数(12月31日現在) 3,044人(学院:2,919人、一般:125人)	⑥ 取組内容や実施方法に課題がある	④ 取組方法(内容)の改善(見直し)を図りながら継続実施する	B 改善実施 (改善・見直しによる継続実施)	生きがい創造学院の生徒は、元は高齢者が対象だったこともあり、高齢者が中心で新規加入もなく、減少が続いている。また、生涯学習サロンは、自主事業と生きがい創造学院の講座以外での利用が少ない状況であることから、取組方法等の改善が必要である。 講座の見直し、自主事業の拡大、貸室のPR等によりサロンの利用拡大を図り、市民の交流促進につなげる。
	第5次とよおか教育プラン	⑦ 地域にある各種団体等の活動の支援を行います	43 【再掲 つながりづくり⑦33】 ②青少年健全育成活動の支援・推進 ③青少年を非行から守り、健全な育成を図る。 ④豊岡市青少年健全育成地区会議、青少年健全育成地区会議(22地区) ⑤「豊岡市青少年健全育成地区会議連絡会」を組織し、地域・家庭・学校園・行政が連携、協働して青少年健全育成に取り組む。 子ども、保護者を対象にした適切なインターネット、スマホ利用についての啓発活動を推進する。 (旧豊岡市子どもと心でつながる市民運動推進協議会) 2025年度補助金 2,659千円 【予定事業等】 ・スマホ・ケータイ安全教室講師派遣事業 講師 ソーシャルメディア研究会学生 ※市内小中学校5校 ・青少年の適切なインターネット利用に関する講演会「ファクトチェック 子どもとメディアリテラシー」講師 篠原嘉一氏 ※豊岡市PTA連合会との共催 ・人権啓発活動「市民ふれあいのつどい」パート2」後援 ・夏休みラジオ体操への参加推進 「みんなであそぼう!」夏休みラジオ体操のぼり旗作成 ・災害に備えた市民総参加訓練への参加推進 ・「豊岡あいさつA7運動」及び「早寝早起き朝ごはん」の普及啓発 あいさつA7ノート作成、小学1年生に配布 ・地域・地区での見守りパトロールの実施 ・情報交換会 学校での子どもたちの様子 市教委学校教育課指導主事から各地区会議の活動報告 ・補助金交付額 2,659千円	③ 目標(目的)の達成に効果があった	③ 現行方法(内容)で継続実施する	A 継続実施 (拡充・現行方法(内容)による継続実施)	「豊岡市青少年健全育成地区会議連絡会」実施の活動は、地域・家庭・学校園が連携、協働して青少年健全育成に取り組む内容となっている。また、連絡会の構成員である各地区的青少年健全育成地区会議においても、様々な体験教室、ボランティア活動、三世代交流等、子どもたちと地域とのつながりをつくるものとなっているため、引き続き、補助金を交付することにより支援するものとする。	
			44 【再掲 つながりづくり⑦34】 ②PTAとの協働と活動支援 ③PTA活動による子供たちの健全な育成 ④豊岡市PTA連合会、各単位PTA ⑤地域の実情に応じた柔軟かつ多様で有意義な活動となるよう支援する。 学校・家庭・地域が互いに連携し、直面する課題の共有、課題解決に向けての意見交換や研修会の開催など、市PTA連合会と連携・協働して取組を進める。 2025年度補助金 372千円 【予定事業等】 ・PTCAあいさつ運動推進強調月間(5・11月) ・PTAリーダー研修会「子どものことを考える会」講演会「ファクトチェック 子どもとメディアリテラシー」講師 篠原嘉一氏 ※豊岡市青少年育成地区会議との共催 ・PTCA地区別研究大会(豊岡の子どもを育てる会) 市民ふれあいのつどいパート2 講演会「ハッピーコミュニケーション」講師 中野佐世子氏 (人権教育・啓発講師、手話通訳士) ※市、市教委、人権協共催 ・研修会 「第5次とよおか教育プランについて」講師 市教委教育研修センター所長 情報交換会 グループに分かれ、各PTAの取組や課題について情報交換	③ 目標(目的)の達成に効果があった	③ 現行方法(内容)で継続実施する	A 継続実施 (拡充・現行方法(内容)による継続実施)	SNSの安全な使い方に関する講演会や各PTAの情報交換会など、子どもたちの健全な育成に寄与する活動が行われており、引き続き、補助金を交付することにより支援するものとする。	

基本方針	計画等	施策の方向性	取組内容	取組状況	所管課評価				
					現状分析	今後の方向性	検証結果	自己評価の理由	
まちづくり	図書館未来プラン	⑦ 地域にある各種団体等の活動の支援を行います	45 【再掲 つながりづくり⑦36】 ②とよかんへいこう！ ③図書館が活躍する市民の発表の場として利用される ④全ての市民(団体サークルを含む) ⑤本館「いいの庭」「いいの間」をワークショップやフリーマーケット等の会場とする ⑥年2回 ⑦地域おこし協力隊が主体となって実行委員会を運営、参加者の募集等を行う	2回実施 ・5/18「スプリングマーケット」 飲食物、雑貨の販売・かご編み・木工クラブ・ダンス・漫才 ・10/26「ハロウィーンマーケット」※読書週間「とよかんまつり」の一環として開催 飲食物の販売・しおり作り・漫才・コント・ピザリオバトル	① 目標(目的)が達成された	③ 現行方法(内容)で継続実施する	A 継続実施(拡充・現行方法(内容)による継続実施)	地域おこし協力隊の協力により多数の出店者や芸術文化観光専門職大学生などに関わってもらえた。彼らにSNSで告知してもらったことで多数の来館者で賑わった。貸出点数の増加にはそれほどつながらなかった点が今後の課題と思われる。	
			46 【再掲 つながりづくり⑧39】 ②本がある場所との連携 【例:だいかい文庫・専門職大学図書館】 ③様々な本に触れる機会を増やす ④全ての市民 ⑤イベントの共催、出張貸出等 ⑥随時	だいかい文庫の閉鎖もあり、「本がある場所」との連携が取れていない	⑥ 取組内容や実施方法に課題がある	④ 取組方法(内容)の改善(見直し)を図りながら継続実施する	C 抜本的見直し(見直しを行い実施)	豊岡市民会館・コープデイズ豊岡・但馬空港でのイベントへ出張貸出を実施しており、「本がある場所」にこだわらず「人が集まる場所」と連携としていけたらと考える。	
	47 【再掲 自分づくり②4】 【再掲 つながりづくり⑤27】 ②住民自治組織、行政、中間支援組織、関係団体、事業所など、連携した地域コミュニティ組織の事業実施 多様なニーズに対応するため、多様な主体が連携し、事業を実施する。 ④住民自治組織、行政、中間支援組織、関係団体、事業所 ⑤多様な主体が参画する協働事業の実施 ⑥協働事業数全組織1事業以上(2029年度までに)	25/29組織、合計111事業を実施。 ※それぞれの実施数は別表(まちづくりP2)のとおり	③ 目標(目的)の達成に効果があった	② 取組の規模(内容、対象など)を拡充(発展)して継続実施する	A 継続実施(拡充・現行方法(内容)による継続実施)	多様な主体が地域コミュニティ組織の活動に参画できるよう、また持続可能な組織運営のため、開催側の負担を分担できる仕組みを検討しながら、協働事業を拡充していきたい。			
	地域コミュニティビジョン	⑧ 多様な機関、団体等との連携を進めます							

別表

自分づくり②3 各地域コミュニティ組織による、地区住民のニーズに対応した研修会
 自分づくり②4 【再掲 つながりづくり⑤27・まちづくり⑧47】住民自治組織、行政、中間支援組織、関係団体、事業所など、連携した地域コミュニティ組織の事業実施

	照会内容															回答内容	
1	ホームページ「新しい地域コミュニティ」にリンクを貼っているSNSの更新が毎月1回以上できている															○か×	
2	地区住民のニーズに対応した研修会の開催回数(困りごとや地域資源に関するもの)															回数	
3	地域づくり計画に沿った事業実施数(地域づくり計画に沿った事業のみ)															研修会開催数	
4	協働事業数															事業実施数	
	豊岡	八条	三江	田鶴野	五荘	新田	中筋	奈佐	港	神美	城崎	竹野南	中竹野	竹野			
1	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×		
2	3	2	4	2	6	4	6	0	0	5	40	4	0	3			
3	24	11	15	13	17	21	49	20	28	32	18	8	13	15			
4	5	6	7	4	7	1	4	0	7	1	10	4	2	1			
	国府	八代	日高	三方	清滝	西気	弘道	菅谷	福住	寺坂	小坂	小野	資母	合橋	高橋	合計	平均
1	×	×	○	○	○	×	○	×	×	×	○	×	○	○	○	○19×10	—
2	3	1	1	2	0	8	3	2	1	0	3	0	4	3	8	118	4.1
3	8	26	1	7	8	43	18	19	13	22	12	8	5	4	10	488	16.8
4	7	7	0	3	3	4	3	4	0	0	2	1	2	10	6	110	3.8